

車両用鉄製品を90%リサイクル 全員で環境活動に取り組んでいます！

民間の企業もがんばっています！

JR東日本長野総合車両センター



ISO事務局 助役
中山光彦さん



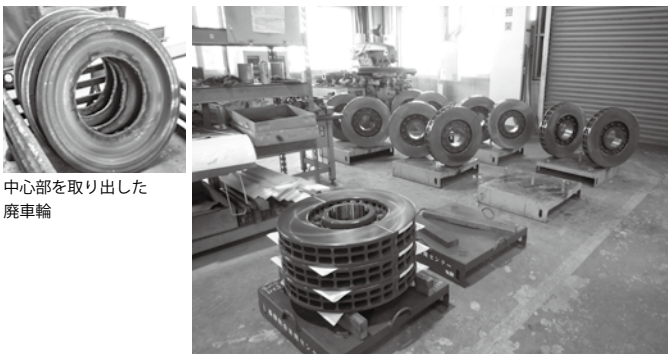
長野総合車両センター正門入口

JR東日本長野総合車両センターは、ながの^{*}エコ・サークル認定事業所のゴールドランク指定を受ける22社のひとつ。平成16年に「ISO14001」を取得して以来、センター全体で環境活動に取り組んでいます。



HB-E 300 リゾートびゅうふるさと

な改善もありますし、節電や節水、ごみの減量化など一人ひとりがやるべきこともあります。3年間ごとに中期計画を立てて取り組み、今年は3期目になります」と話して下さい。たのは中山光彦ISO事務局助役。なかでも鉄の再利用は、90%という高いリサイクル率を誇っているそうです。「車両に使われているブレーキ部品の多くは、当センターで製造しており、使用済みとなった製品を回収し、それを溶かして再製造したり、また使用済み車輪の中心部だけ



中心部を取り出した
廃車輪

新たなブレーキ部品に再利用

を取り出して削り出し、新しくディスク座という製品に生まれ変わらせています。広い構内は、車両の車検場でもあり、鑄造工場でもあり、博物館のようでもあります。ここで働く人は協力会社も含めて約400名。昨秋に行われた信州DCキャンパインで走ったハイブリッド車両も、ここでメンテナンスされています。

「使用した天ぷら油には水分も多く含まれているんです。そこで、まず油と水分を分離します」と解説してください。これは、工場長であり、リサイクルの担当でもある三井さん。分離した油は、工業用として再利用されるほか、ここではさらに加工し、軽油と同様にクルマの燃料にも使えるBDFになっています。

BDF使用のバス



使用済みの天ぷら油が、軽油代わりのエネルギーバイオディーゼル燃料(BDF)になるって知って

ごみ減らし隊がゆく!!

▶使い終わった天ぷら油を…

クルマの燃料にリサイクル!?

天ぷら油でクルマが走るワケ

【直富商事環境部】

●見学受け付けています! ☎026-222-1884(代)まで連絡を●

「ただし、長野は寒冷地なので、冬場はどうしてもBDFは弱いんですよね。まだまだ解決するべき点はたくさんあるものの、夢いっぱいBDFです。」

天ぷら油ガソリン⇔BDF燃料の車が走った後は、おいしい天ぷらの匂いがします!

そんなクルマに出会ったら

「あ、BDFだー!」

と思うってください。



市場工場工場長 三井さん



環境部部長 清水さん

*「ながのエコ・サークル」とは、ごみの減量やリサイクルに配慮した事業に取り組んでいる事業所を長野市が認定するものです。